
序

この補遺の主たる目的は、本編では対象外としていた書評と創作作品とを収録することにある。それに加えて、本編作成時の調査不備分と、1983年以降の刊行物とを、現時点で調査完了した範囲で補うこととした。さらに、小説・ノンフィクション・コミックス等、様々なジャンルの著作物中に出現する関連記述を可能な限り取り上げることをも企図している。

ただし、補遺作成のための特別な文献探索作業は実施していない。この補遺に収録したものは、その情報入手過程から見ると、次の三種類、すなわち、本編作成時の調査の基礎となった二次資料群（本編 p.6-10 参照）から情報を得たもの、編者が書店等において偶然入手したもの、友人・知人からの情報提供によるもの、に大別される。本来ならば収録対象の変更に合わせて新たに二次資料調査の段階から再調査を執行する必要があるが、この補遺は逆に、そのような調査の方向性を探るためにも、徹底した網羅的探索は一切行なわないということに徹底した。

上記より、この補遺において本編と同様の関連構造指示を適用することは、それがもし可能であったとしても、實際上ほとんど無意味であると推定される。したがってこの補遺では、本編とはまったく異なる様式でデータを掲載している。特に、本編と合わせてこの補遺を利用する場合には、両者の相違を十分考慮するようお願いしたい。

補遺におけるデータの概要は以下のとおりである。

1. 配列について

各データは、最初に、その内容および形式から次の6種類、すなわち、

- (1) テキスト
- (2) 研究文献
- (3) 書評
- (4) 創作作品
- (5) 部分的言及文献
- (6) コミックス

に分類され、(1)、(4)についてはさらに細かく分類される（分類についての詳細は目次を参照のこと）。同一分類内においては原則として、(1)では主たる翻訳者・編者名順、(1)以外では主たる著作者名順に配列している。ただし、主たる翻訳者・編者あるいは著作者等が存在しない場合は、その作品名のもとに配列している。また、同一配列要素を有する複数のデータが存在する場合には、その刊行順に配列している。

2. データ要素について

各データは次の3種類のデータ要素からなる。すなわち、

- (1) 制御番号
識別用に設定された4桁の、本編から連続する一連番号。
- (2) 書誌データ
単行本・雑誌タイトルは『 』、その他の作品名等は「 」で表示。